

柘植地域人権啓発合同事業 人権フィールドワーク

2年をサイクルとして実施しております人権啓発合同事業が改めてスタートしました。最初の取り組みとして、柘植地域の各区から合計45名の方と地元の小中学校の先生方7名の参加により、5月25日（土）午前、いがまち人権センターとその周辺でフィールドワーク研修会を行いました。

はじめに人権センターホールで、地元で解放運動の中心となって活躍されてきた上島邦彦さんに、これまでの実状や差別解消に向けて取り組んできたこととお話いただきました。

その後、見晴らしのよい高台にあるお寺の境内から柘植地域を見渡しながら、同和地区改良事業がどのように進められてきたかを教えていただきました。

特に、昭和27年3月、17軒に及んだ大火事に象徴されるように、公共事業が「素通り」してきた同和地区においては、住環境や生活環境の面で周囲の区に比べて長く低位にあり、その反省が後の同和対策事業にも活かされていくことになりました。

そのほかにも、就労対策として大型共同作業所があったことや農業振興に現在も使われている育苗センター、住環境の整備や道路整備などについてもお話をいただきました。ちなみに上柘植インターへのアクセス道路なども同和対策事業によってできたものですが、同和地区だけでなく広く多くの人々の利便性を高めることにつながっていることは、案外知られていません。

参加者の感想からも、今回のフィールドワークにより、私たちの柘植地域にあった差別にかかわる歴史や現状を見つめ直すよい機会になったと思われます。今回の研修内容を各区で広めていただくことが合同事業の趣旨ですので、各区でいねいな還流をお願いいたします。

さて、人権啓発合同事業としては、人権映画の上映会の取り組みが6月8日から各区で始まります（別紙配付済み）。また秋には三重県人権センターや松浦武四郎記念館へのフィールドワークも予定しております。参加のしかたなど、詳しいことはまちづくり協議会事務局までお問い合わせください。（西田方計）

